

# CXP Wood

(Cellulose X-linked Polymer)

国際規格の有害物質約40種からフリー  
いかなる重金属も環境ホルモンもない



CXP-SD (完全分解)  
CXP-BD (生分解)

抗菌/難燃, 防炎  
高強度/高軟性

林業、農業の副産物使用  
長く使えて炭素貯蔵にも貢献

CXPは熱可塑性を持つ木材で、プラスチックを代替できます。  
CXPはマイクロプラスチックを排出せず長く使えるうえ最終的には自然に戻ります。  
燃焼や分解するときも有害物質が発生しません。  
さらに炭素を蓄えられるので地球温暖化防止にも役立ちます。  
環境、生産者、消費者、みんなにやさしい汎用素材、それがCXPです。

# CXPとは

**CXPは熱可塑性を持つ木材です。**

CXPは木を射出加工出来るよう特別な技術力で作られており、後処理なしでも高い耐久性、耐候性を持っています。プラスチックが入っておらず、人が食べても無害な材料で作ります。

## CXPの特徴

### 分解性

素材の分解期間をコントロールでき、用途に合わせた分解性を得ることが可能。

### 耐久性

木特有の衝撃強度により冷凍保管しても割れずに使用可能。原木より乾燥が早く、微生物の増殖を抑制。歯ブラシ、まな板、器などの清潔に管理する製品に最適。

### 経済性

高生産性で環境にやさしい伐採の副産物を使用し、安価な木材製品。一般の木材製品より高い結合力を有し、長期的に使用可能。

### 親水性

木の特徴である親水性により質感が優れる。界面で水を吸収し、表面が荒くなり、ペン、歯ブラシなど手で持つ製品を使うとき滑らなくなる。

### 炭素貯蔵

従来のプラスチックとは異なりCXPは二酸化炭素を蓄えられる。さらに無駄な木を消費することが出来、森の手入れを促すことで、森の炭素吸収力を上げられる。そのためCXPを使えば使うほど、地球温暖化防止に貢献できます。



国際森林認証PEFCを取得

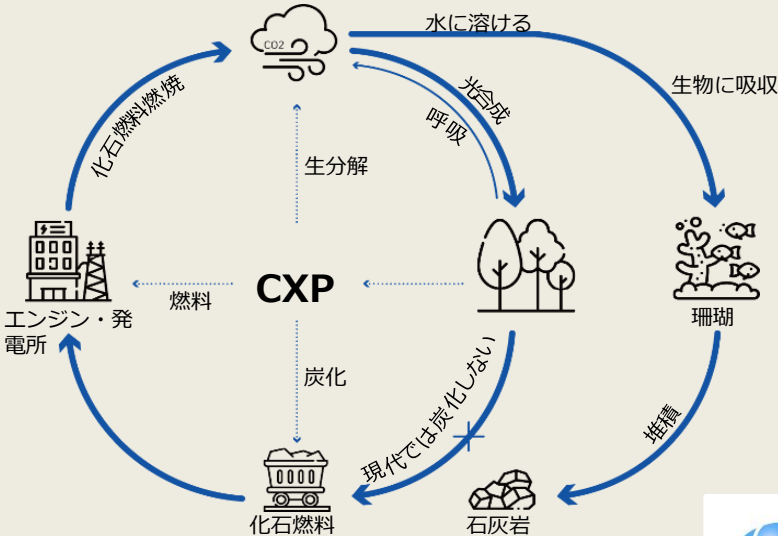
## CXPとPLAの違い

項目	CXP	PLA
名称	Cellulose X-linked Polymer	Poly Lactic Acid
主な成分	木粉	乳酸
溶融指数(MI)	普通	高い
物理強度	強い	弱い
耐熱性	144℃	60℃
分解期間	1ヶ月~30年	6カ月未満
密度	1.1	1.25

## CXP物性表

項目	単位	試験方法	結果						備考	
			一般	高流動	抗菌	高強度	生分解	難燃		
区分		ASTM								全項目 会日可能
溶融指数(MI)	g/10min	D1238	12	30	5.5	6	12	8.2		
引張強度	kg/cm <sup>2</sup>	D638	220	200	518	424	300	189		
伸び率	%	D638	3.56	3	2.46	8.24	1.2	2.94		
曲げ強度	kg/cm <sup>2</sup>	D790	412	580	963	791	600	375		
曲げ弾性率	kg/cm <sup>2</sup>	D790	20,816	25,788	36,976	24,421	51,000	31,808		
Izod衝撃強度	kg.cm/cm	D256	3.8	3.2	2.9	4.2	2.0	4		
比重	g/cm <sup>3</sup>	D792	1.1	1.05	1.25	1.16	1.4	1.42		
荷重変形温度 (18.6kg/cm <sup>2</sup> )	℃	D648	82	81	97	63	59	65		
収縮率	%	内部試験	8	9	5	7	5	5		

## CXPのカーボンサイクル



三洋貿易株式会社

〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町2丁目11番地

お問い合わせはこちら

[y-hamasaki@sanyo-trading.co.jp](mailto:y-hamasaki@sanyo-trading.co.jp)  
[r-yamaguchi@sanyo-trading.co.jp](mailto:r-yamaguchi@sanyo-trading.co.jp)

☎ 03-3518-1080